

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【公開番号】特開2010-56507(P2010-56507A)

【公開日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【年通号数】公開・登録公報2010-010

【出願番号】特願2008-281851(P2008-281851)

【国際特許分類】

H 01 G 9/12 (2006.01)

H 01 M 2/12 (2006.01)

【F I】

H 01 G 9/12 B

H 01 M 2/12 102

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月27日(2011.9.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ラミネートフィルム(1)で包装されたキャパシタ(2)に設けられ、前記ラミネートフィルム(1)の内部(X)の圧力が一定圧力より高くなった場合に、その内部(X)と外部(Y)とを連通させる圧力開放弁(3)において、

前記圧力開放弁(3)が、前記ラミネートフィルム(1)に設けられた開口部(4)に取付けられ、外部(Y)側に開放した環状の溝部(51)と、前記溝部(51)と内部(X)とを連通する連通孔(52)とを備えた樹脂材製ハウジング(5)と、前記溝部(51)の底部(53)側に保持されている本体部分(61)と、前記本体部分(61)から外部(Y)側に向って伸び、前記溝部(51)の外周面(551)と弾性接觸している弁部(62)とを有し、ゴム状弾性体単体で構成され、内部(X)の圧力が一定圧力より高くなった場合に、前記弁部(62)と前記外周面(551)との接觸を解いて、内部(X)の圧力を外部(Y)に開放するようになした弁体(6)とよりなることを特徴とする圧力開放弁。

【請求項2】

前記圧力開放弁(3)のハウジング(5)の端面(54)と、前記ラミネートフィルム(1)の前記開口部(4)近傍の内部(X)側の面とが、熱融着により一体化されていることを特徴とする請求項1記載の圧力開放弁。

【請求項3】

前記溝部(51)の内周面(55)若しくは外周面(551)の少なくとも何れか一方に、前記本体部分(61)の外周面(63)若しくは内周面(64)が接する部分に、抜け止め用の段部(56)を設けたことを特徴とする請求項1または2記載の圧力開放弁。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】